

所属	看護学研究科 看護学専攻 修士課程 看護マネジメント学分野	修了年度	2018 年度
氏名	外館 真理子	指導教員 (主査)	林 慶子

論文題目	高齢者の生活移行を支える訪問看護師の実践
------	----------------------

本文概要	
<p>【目的】 高齢者の生活移行を支える訪問看護師の実践を明らかにする。明らかにされた結果から、今後の退院支援看護師の退院支援への示唆を得る。</p> <p>【方法】 ①対象者：都内 23 区内にステーションがある訪問看護ステーションの代表として病院で行われる退院前カンファレンスに参加経験のある訪問看護師 10 名。ネットワークサンプリング抽出法を用いて対象者を選定した。 ②研究方法：高齢者の生活移行に退院前カンファレンスから継続して在宅へ移行時期に携わった事例を挙げてもらい、実践を明らかにした。事例や人生経験、看護師経験の中から自由に語ってもらい、半構造化インタビューにより聴き取りを行った。分析方法は質的記述的方法を用いて、録音したインタビュー内容を逐語録に作成した。出来る限り研究協力者の言葉を用いて「訪問看護師が高齢者の生活移行に関して実践していること、その基盤となるものは何か」といった分析の視点を念頭に置きコード化し、サブカテゴリー化したものをカテゴリー化した結果、分析を行った。</p> <p>【結果】 分析の結果、154 個のコードから 16 個のサブカテゴリーが導き出され、7 個のカテゴリーが抽出された。高齢者の生活移行を支える訪問看護師の実践は【すぐに生活をするための準備】【生活の再構築】【その時に必要なサポートを提供】【高齢者・家族を優先】【内省】【信頼関係の構築】【訪問看護師の価値観】であることが明らかになった。</p> <p>【考察】 訪問看護師は、高齢者の望みや持つ力を引き出し、必要なサポートがすぐに提供することで、生活移行を支援し、高齢者の生活を再構築していた。訪問看護師は、高齢者と積み重ねるよう信頼関係を構築するための関りを持ち、実践から内省を行うことで、個別性の問われる多様性に富む高齢者の生活移行を行っていた。高齢者を時間経過の中で個人として捉える価値観を持ち、訪問看護師が高齢者の生活移行を実践する際に、訪問看護師自身が何を考え、どのような実践を行うのかということの基盤となっていた。 退院支援看護師として、高齢者が生活に望むことは何かという認識を持ち、医療と生活の両面から「その人らしさ」を踏まえた、高齢者の生活移行を支える退院支援の必要性があることが示唆された。</p> <p>【キーワード】 高齢者、生活移行、訪問看護師の実践、生活の再構築</p>	